

安全な道路環境をめざして 3

# SAFETY FOCUS

## 右折時に対向車線の直進車両を確認しづらい幹線道路の交差点

●この地点で発生した事故件数

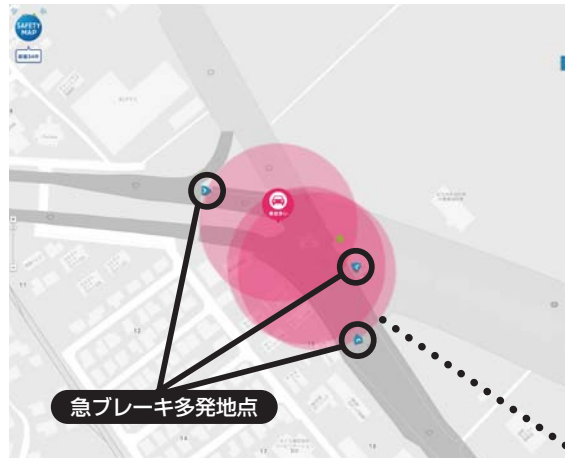
事故類型		件数
車両相互	追突	13
	右直	3
	出会い頭	1

※平成25年中、福岡県警察本部提供

●「SAFETY MAP」みんなの意見

危ないと感じる理由	そう思う人
スピードが出ているクルマが多い	2人
見通しが悪い	1人
交差点の形状がやや変則的	1人

※平成26年7月31日時点



「SAFETY MAP」の表示

「SAFETY FOCUS」は、ホンダが公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜むスポットに足を運び、現場の交通環境と事故防止について考察する連載記事です。

「SAFETY MAP」には「みんなの意見」として一般投稿された危険スポット情報が地図上に表示されている。今回「FOCUSエリア」(下図参照)に取り上げるのは、福岡県内で4人の方が「みんなの意見」を投稿している「バイパス朽網」交差点だ。ここには、スピードが出ているクルマが多い(2人)、見通しが悪い(1人)などの投稿が寄せられている。また、急ブレーキ多発地点の表示も出ているこの場所では、平成25年中に交通事故が17件発生しており、車両相互の追突や右直などの事故が起きている。

### 現場をたずねる

「バイパス朽網」交差点は非常に複雑な形状になっている。国道10号の小倉側は直進および右折専用レーンが2車線ずつ整備されている。現場をたずねた平日朝7時は通勤ラッシュにあたり、国道10号小倉方面からの車両で直進・右折レーンともに渋滞が発生。特に車線

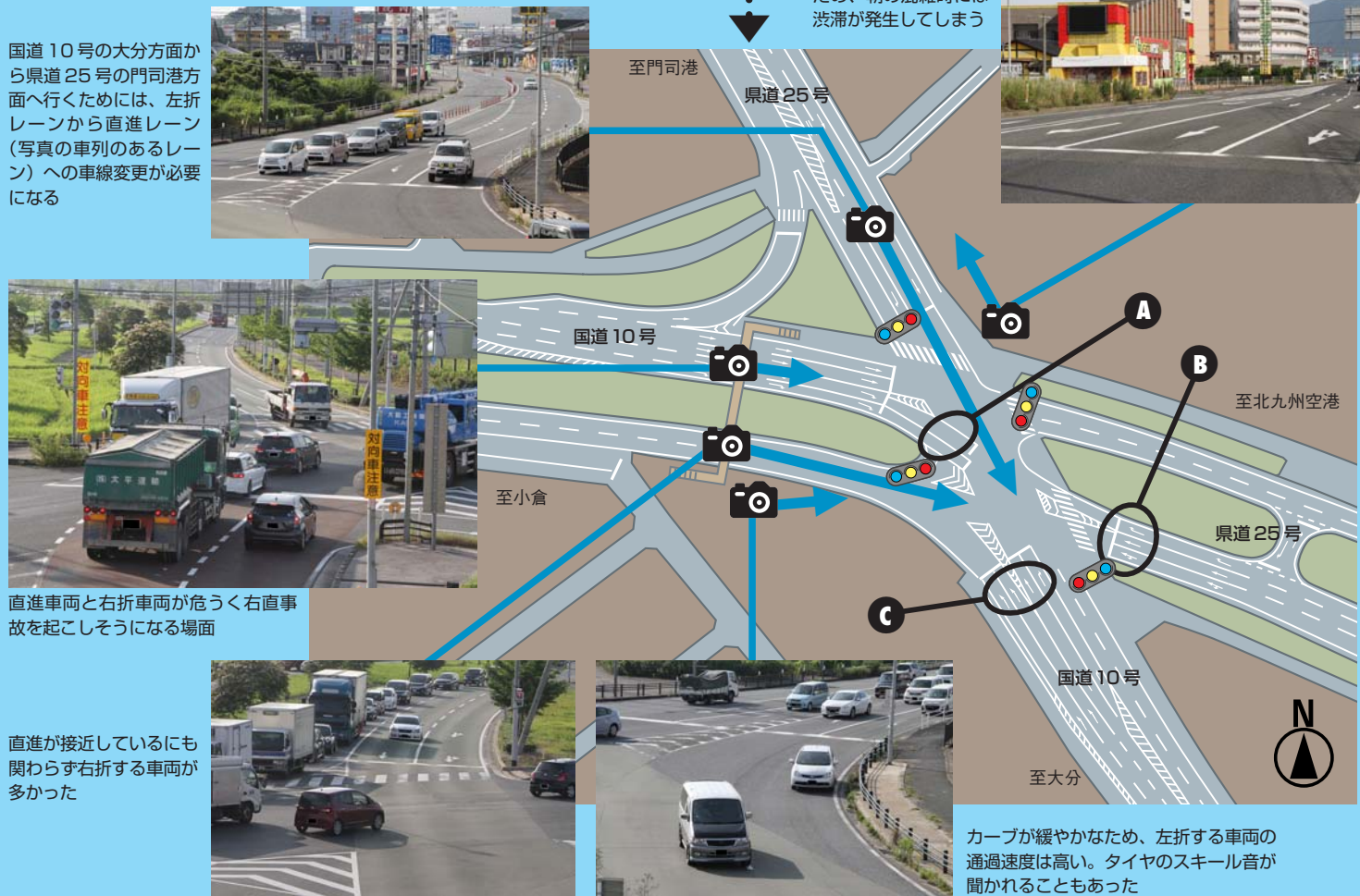
Aのクルマは青信号と同時に停止線まで進行するが、対向車線である国道25号の右折レーンに大型車がひんばんに停車するためBの直進車両を目視で確認できない。そのため多くのクルマは停止線を大きく超えて右折待ちしていた。

北九州空港方面からの直進車線Bのクルマは通行台数がまちまちで、Aのクルマは通行が途切れたタイミングで右折を開始していた。Bのクルマの中には、黄色信号の時に70km/h以上の速度で交差点に進入するケースも見られた。

また、大分方面からの車線Cは左折するクルマが大半を占めているが、直進レーンが分かりづらく交差点の手前で車線変更を行うクルマが散見された。

### FOCUS エリア

福岡県北九州市小倉南区「バイパス朽網」交差点



国道10号の大分方面から国道25号の門司港方面へ行くためには、左折レーンから直進レーン(写真の車列のあるレーン)への車線変更が必要になる



直進車両と右折車両が危うく右直事故を起こしそうになる場面



直進が接近しているにも関わらず右折する車両が多かった

左折レーンは直進と併用する1車線しかないため、朝の混雑時には渋滞が発生してしまう



カーブが緩やかなため、左折する車両の通過速度は高い。タイヤのスキール音が聞かれることもあった

### 自分本位の見切り発車で右折を開始しない

現場で危険を感じたのは国道10号を小倉方面から大分方面へ右折するケースだ。Aの右折車両がBの直進車両と危うく接触しそうな事象は、観察中に4回程発生した。4回のうち2回はAの車両が対向車の接近中に強引な右折を開始。残りの2回はBの車両が黄色信号になってから交差点に進入したケースだった。

通勤時間帯とあって運転者は気が急いでいるだろうが、自分本位の見切り発車での右折はしてはならない。しかし、今回の現場ではBの右折レーンにいる大型車が交差点中央に出てくると見通しが極端に悪くなり、Aで右折待ちをしている運転者は停止線の直前でもBの直進車両の接近を確認しづらくなる。さらにBの直進車両は信号が黄色から赤への変わり目で速度を上げて交差点に進入して行くため、右折待ちをする運転者の視認性確保が必要だと思われた。

### 右折レーンの位置変更や信号制御の見直しを検討中

事故を防止するため、福岡県警察は道路管理者と連携し、今年中に交差点の改良を実施する予定である。主な対策としては1.「Aの右折レーンを対向車線側に寄せて視認性を改善」2.「Cを直進優先となるよう車線を整理」3.「信号制御を見直し、直進と右折を分けて進行させる」4.「大分方面から小倉方面に向かう交差点の角をせり出し車両速度を抑制」5.「門司港方面から北九州空港方面に向かう左折レーンを新設」である。

その他、路面のカラー舗装や減速マークを追加設置する計画もある。これはAで停車中の車両に後方から追突する事故も多発しているため、原因として先行車の減速タイミングに後続車が追い付かなかったことが考えられる。

このような道路環境の改善によって、「バイパス朽網」交差点の事故件数が減少することが期待される。

中央分離帯の面積を減らし、右折レーンを対向車線側にシフトする予定



Cの左折レーンの手前に急カーブ表示がある



交差点の至る所に注意喚起の表示が設置されている



「SAFETY MAP」のご活用・ご参加をお願いします!

ホンダ セーフティマップ  検索

<http://www.honda.co.jp/safetymap/>

「SAFETY MAP」は「みんなで作る安全マップ」です。Hondaのインターナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と、交通事故情報、そして皆さんの声で地図はつくられます。お手持ちのPC・スマートフォンからアクセスできますので、あなたの周囲に危ないと感じることのある場所があったら、情報を投稿してください。